

こどもの病気「尿路（にょうろ）感染症」

体のなかで、おしっこができて、からだから出て行くまでの通り道を尿路といいます。膀胱炎（ぼうこうえん）や腎盂腎炎（じんうじんえん）という病気も尿路感染症になります。

夏には、汗をたくさんかくので、あまりおしっこにいかなくなっていますか？ 冬でも、暖かいところが多く、汗をかくので、あまりトイレにいかなくなってきましたか？ おしっこは体のなかのいらぬものを出してくれます。水分はしっかりととりましょう。でも、シューズばかりではだめですよ。

- 原因：大腸細菌などの腸内細菌が、尿路にはいって感染したものです。
- 症状：高い熱が出ます。小さい子だと、機嫌が悪くなったり、食欲がおちることがあります。おしっこの回数が増えます。おしっこをするときに痛がったり、血尿のでも場合もあります。背中が痛いという場合も有ります。
- 治療：抗生剤が処方されます。2、3日で症状はよくなりますが、そこで中止せず、指示通りの期間、服用しましょう。

（治療については、お医者さんの判断によりちがいます。ここには一般的なものに記載しています。）

- 病院に行くタイミング：原因不明の熱が続くとき。おしっこの回数が増えたり、おしっこのときに痛みをうったえたら、受診しましょう。
- いつから学校（保育所）にいい？：熱がさがって元気になれば大丈夫です。
- おうちでできること：
 - 休む・・・熱のあるときは、体が病気と闘っています。おとなしくしていきましょう。
 - おしっこ・・・がまんしないで、なんども行きましょう。
 - お風呂・・・熱が高くなければ、さっぱりさせてあげるのはかまいません。
- 予防：水分をいつも以上にたくさんとりましょう。何度もトイレに行って、菌を流しだしてしまいましょう。

尿路感染症に、なんどもかかってしまう子がいます。腎臓に影響をあたえてしまうばあいもありますので、ちゃんと治してしまいましょう。トイレに行って、おしりをふくときは、前から後に拭くくせをつけてくださいね。

気になる症状「頻尿（ひんにょう）」

さっき行ったばかりなのに、またおしっこ？ という子は意外と多いようです。テレビに夢中になっている間は、別になにもなく、コマーシャルのたびに2、3回もいくことがあります。「心因性（しんいんせい）頻尿」といって、ストレスや、おもらしをしてはいけないという気持ちからおこることが多いようです。つまり、精神的なものです。行って帰ってきてすぐなのに、本当におしっこがしたくなるのです。周りが気にすると余計にひどくなります。ほっておけば自然に治ります。お母さんたちは、お子さんが何回トイレに行っても、しらんぷりしているのが一番いいみたいです。

小学生になっても、トイレに急をかけこんでいく、途中でおもらしをしてしまうなどは、「不安定膀胱」といって、膀胱にある排尿筋のコントロールが、うまくいっていない場合もあります。

多飲多尿のある場合などは、別の病気が隠れている場合もあります。いつもと違うと感じたら、やはり一度、診察を受けましょう。